

私は衛生のため、学生時代から郊外散歩
 をよくして来た。武蔵野の風趣を玩賞しなが
 ら半日一日を過ごし、汽車に乗って日互りの旅
 行をゆよくした。風靡けの雑木林を囲まれた
 百姓家~~の~~は、武蔵野生活の昔の形を残り
 ておいて、趣多があつたが、郊外は次第に奥へ
 と押退けられ、東京の場末町になつた。世界
 大戦後の日（蕪雜な）本の好景気時~~は~~、~~代~~が
 ら、郊外は執任宅地として開拓せられ、~~井~~
 の文化住宅が續々と建築されるやうに、西洋風
 コスモ

なつた。それらの庭には、~~ア~~スがよく咲いてお
 た。カシナとかケヤキ、ソウゴク、西洋名の草花が
 執任宅地を色取つて、傳統的武蔵野の百姓家
 と生活様式の異つてゐるのか、対照的に面白
 く見られた。

私は大磯住ひを飽いて、^{東京}女子移轉しよつて
 思ひながら、面倒なので決行しかねて来たが、
 ①洋行後子目的を達（長い間）するこゝから出
 来た。執（やうやく）築しやうか、旧い貴家も四半
 かと迷ひながら、信託会社の案内で、~~あ~~の
 交外

空地や賣家を見て歩いたが、昭知七八年の頃
 不景気の時であつたので、価格は喜ばな
 の経済界大 かつたやうだ。大磯でも
 可成の別荘が地所付一万円くらゐ
 であつても賣り出さぬた。東京の郊外も
 り大きな家が二万円くらゐで賣家もあつた。
 利はるが等の文化住宅を検討した。多くは
 審美的な観(西洋模倣の)築したら、
 味の家屋であつたのであつた。日本傳統の庭
 園美も建築美も見られず、
 西洋の建築の風致も備へてあるのではな
 つた。しかし、私たちが新築し、
 やはり一、二等の家屋のやうな、皮相な西洋
 がいの文化住宅を建ててあつたと想像さ
 した。庭園もして、
 つたりするよりも、甚生かけで餘計な
 ない方がいふと思はれる。庭接室は西洋
 して、
 だが、
 本室も告つて置きたくなる。西

97

（原）

洋おも日本おも存り却らないのが、建築はか
 りではなくつて、何事かつけこめ、私にこの
 態度であつた。五十年來の東京がこ
 の知洋折衷で行動を続け、来たやうなもの
 だ。

昔、空家探しは興味あることであつた。賃
 家でなく賣家を探すのは一層興味のある
 筈であつた。私は池足池畔の喜甚子ある古凡
 な西洋館子心惹（洗）かかて、幾たい見子行つ
 て、持主と交渉した。このあたりは、市外電車の

無かつた頃たいく、散歩を来た所で、その頃
 洗足池は山間の湖水のやうな幽邃で、水が澄
 んでおた。勝海舟の隠居の地であつたとかで、
 託念の石碑があつた。西洋館は第一次世界戦
 争前子、独逸の建築技師が日本政府子招聘
 せられた。自分の住宅として、自分でこの
 近所の大工を指図して建たれた。木
 造だが堅牢で、古城のやうな趣きがあつた。日
 本人の住居としては、堂取りな心が不便なの
 で、長い間地主家子なつておた。一時別荘とし

建築後
 間もなく
 戦局が
 起つて敵
 国人を
 つた彼は
 日本を去ることなつたのださうだ

98

て假寓してゐた人だあつたが、純西洋館であつたこの家子置の室を造つたり、暖房設備も破壊したりして、西洋の純粋性(全家通いさ)が失はれてゐた。地所の條件もたけで、家はあ負けましますと、持主が云つておたほど子、當時こんな家は賣行が悪かつたらしい。いよ／＼この家を買ふこと極つて、修繕をしてゐる間、中凡の推つ(よ)こおた故郷の父が危篤(七、八年間)に陥つたといふ事通知を接した。急いで歸つて、父の死を見送つて

帰つた

後仕末をして、いよ／＼東京の新しい家で新しい生活をするこゝなつたのである。私は長男だが、父の遺産を承つくり相續し得るもの(法律の定め)で、故郷に落ち着いておさへすれば、安穩に晩年を送れる譯であつたが、田舎生活の嫌いな私は毛頭そんな気はなかつた。洗足の池畔の家を死場所とするつもりで、大磯から移轉したのであつた。いそぢお粗末な家子ばかりのお私

は、天(東京では)井の(借)高い(住んで)置

77

たる感じのする邸宅に起臥するのは、自分
 不似合なやうな思はれたが、しかし、物は田
 舎の旧家子生れ、~~風~~廣々とした家~~を~~知~~り~~の
 頃を送つたのだ。粗末な~~か~~も、~~か~~、晩年を
 このくにおいで過すのを、世俗的存出~~の~~沙汰と
 は思は~~な~~なかつた。飯米は田舎から送
 つて貰えるし、多量の作料は入るし、子供
 のない私の家庭では支出は僅少であるの
 たから、~~気~~樂子~~隠~~居でもしたやうに~~残~~生を
 送らうといふ気持になつた。それで、暇潰し

まゴルフでゆらうかと思立つた。午前中子
 等々力とか駒場とか子あつた近郊のゴルフ場
 へ行つて、帰つて来ると空腹を午~~飯~~を~~ば~~ま
 く食べて、食後は眠気差すま~~ま~~一時間ばかり
 リ午睡をするのを常例とするやうになつた。夜
 は有り合せの書物を読むか、雑誌を読むか、
~~或~~はラゲオを聞くかして、時間を潰した。
 まつ樂隠居と云つた形であつた。ところが、
~~右~~生活~~左~~揺りは決して面白くはなかつた。そ
 れで、私は再度の~~世~~界一周旅行を企て~~る~~の最

10

341行

初のとは旅程を逆子、~~ロ~~ベリア鐵道を経、歐
 洲へ入つて、アメリカを直つて歸朝したのであ
 ったが、故國を去るに異郷に滞在して生を
 終るやうな、徹底した行動は、私は出来な
 くてはかつた。田舎の父祖の家を隱退する
 ことも出来なかつた。外國に定住すること
 も出来なかつた。東京が~~命~~命的に私の故郷であるやう
 な、~~最初の~~最初の旅行の時、大磯の家をこのまゝ
 置いて、~~東京~~江戶の人を留守を頼んだだけで
 あつたが、一年後を歸つて見ると、家の中がほゞ
 だらけになつておたゞけで、一物も失はれてお
 なかつた。~~三~~三度目の時は、東京の家を去らな
 した。夫婦を留守番を置いて、安心して出
 たのであつたが、歸つて見ると、いろいろ持物
 の無くなつておる事が、時を経るにつれて老
 見せられた。少しづつで入つておた印税持人が奇
 麗な消費をされておた。新米を食ふ竹竿の
 ほかの物が何處かへ行つておた。田舎から取
 寄せたあつた十數俵の米を夫婦(俵のまゝ)
 が二人で喰ひ盡しておる事になつた。

一年間

こま

やうに

101

な事も人子話したつて座敷に暮るだけ的事で、
 盗難品や紡糸物か~~の~~一つだけつて戻つて来る
 譯ではないので、私は取返しのためには
 何の行はなかつた。しかし、不思議なもの、
 (或は不思議でないかも知れないが)東京在住
 五十年の間、~~の~~知合ひはなつた留力女のうらで、
 の留守番二人の~~顔~~ ~~の~~ ~~多~~ ~~數~~ ~~の~~ 鮮明な物の
 顔の印象を留めておる。 ~~の~~ ~~で~~ ~~あ~~ ~~る~~。 大した憎
 しみを感じておるのでなかつたが、彼等が不
 快な東京人の顔の標本となつて ~~の~~ ~~私~~ ~~の~~ ~~顔~~ ~~子~~ ~~残~~
 子見た顔の ~~の~~ ~~顔~~

つておるのである。東京在住中、快く感して
 思出される顔、不快を感じて思出される顔
 を、今心子浮べて見ると、私は興味もあり、
 自己の生存と連関して人生味が味はこめるの
 である。 ~~の~~ ~~等~~ ~~の~~ ~~名~~ ~~前~~ ~~を~~ ~~こ~~ ~~こ~~ ~~に~~ ~~列~~ ~~挙~~ ~~す~~ ~~る~~ ~~こ~~ ~~と~~
 は差扣へるが、寫眞子なつて雑誌や著作集子
 掲げられた私自身の顔面は、最大の不快感
 をもつて思出される。不軌、自分の顔は見
 らぬまいし、その是非善悪 ~~の~~ ~~子~~ ~~つ~~ ~~い~~ ~~て~~ ~~考~~ ~~へ~~ ~~て~~ ~~お~~
 ないからいこやうなもの、 ~~か~~ ~~ら~~ ~~い~~ ~~ふ~~ ~~顔~~ ~~し~~ ~~て~~、

1
 2

五十年習、東京のあつらひをうす出せしゝおた
かと思ふと、何となく不快感に籠らはれるので
ある。出来る事なら、毎日假面をかぶつて生
きておたしよかつたと思はれる。

二度目の洋行から帰つた年は、日華事
かど起つたので、それから次第に生活状態が
變つて来た。批角東京に定住することまつ
たのち、防空訓練燈火管制隣組制度は生
活も不快ならしめる事事が続々と出現して、
私自身も~~長~~長となつて阿呆らしい真似をし

た。それでは、ついに、死場所を極めおた東京の家
も棄てて、軽井沢の陋宅に暮らして生も

かひたので、帰るに家なく、字
住の地の無い林しさを感ぜながら、三年の月
日を過した。宇宙は廣く世界は廣く、日
本内地だつて、人間を取つて甚だ廣いので、強
いて定住の地を東京と極めまいでも、何處
か~~安~~安~~商~~商~~留~~留~~先~~先~~か~~か~~あり~~あり~~そ~~そ~~う~~う~~思~~思~~は~~は~~か~~か~~る~~る

3

毒り、身
も掃つ
こゝろ

のだが、それでは何處かいか、いつまで経つても私は思ひ出せない。よくも悪くも東京へ行く外は無いやつである。私の生か御座る氣候温暖の地である。そこには、私が所有權を持つてゐる祖先の家があるのだが、そこへは行きたくもないし、管理を任せしめてゐる身内の者が、我々物産子任んでゐるの、~~不~~不快も思つてゐるはかりである。大磯の氣候温暖の地であり、そこも私が所有權を持つてゐる家があるのだが、そこも任みたくはない

し、現在私は少の家賃を拂つて任んでゐる人物は、電話まで~~強~~い腰を括~~く~~つてゐる。だ。

今最寒中の軽井沢に於ける水等暖地に於ける我所有家屋を占領してゐる人々の顔を出してゐると、不快な~~感~~相好の持主と~~思~~ひ~~出~~す。彼等感せしめるのである。
私の前子現は外に

100